

ごあいさつ

札幌市長 秋元 克広



2025年、札幌市と大田広域市は、2010年10月22日に姉妹都市提携を締結してから、15年という輝かしい節目を迎えました。この記念すべき年に、両市の友情と発展の軌跡を記した記念誌を発刊できますことを、大変うれしく思います。日頃より、両市の交流を支えてくださっている市民の皆様、そして関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

両市の交流は、2003年に共通の姉妹都市記念事業に参加したことを機に始まり、2010年の提携を経て、青少年交流やスポーツ交流などを通じ強固な信頼関係を築いてまいりました。コロナ禍において開始したオンライン学校交流は、生徒たちが互いの文化を紹介し合うなど貴重な学びの場となっており、国境を越えた「次世代の絆」が着実に育まれていることを大変心強く感じております。

2025年8月には、イ・ジャンウ市長のご招待を受け、私をはじめとする代表団が大田広域市を訪問いたしました。大田広域市の夏を彩る「大田0時祭り」では、北星学園大学の学生がYOSAKOIソーランの演舞を披露し、会場は熱気と感動に包まれました。また、経済セミナーやスタートアップ施設の視察を行うなど、経済分野においても互いの強みを学び合う、実り多い時間を共有することができました。

2026年2月には、イ・ジャンウ市長をはじめとする皆様を札幌市にお迎えしました。経済交流会や市内施設の視察を行ったほか、15周年記念レセプションでは、多くの関係者が集う中で両市の変わらぬ友情を再確認する、温かなひとときとなりました。

これからの将来を見据え、私たちは単なる交流にとどまらず、互いに刺激し合い、共に新たな価値を創造するパートナーとしての関係を築いてまいりたいと考えております。両市の固い絆が、未来を担う若者たちの翼となり、更に飛躍を遂げていくことを確信するとともに、大田広域市の限りないご発展と両市の友情が永遠に続くことを祈念いたします。

ごあいさつ

大田広域市長 イ・ジャンウ



謹んでご挨拶申し上げます。

科学と文化芸術の中心都市、大田広域市長のイ・ジャンウでございます。はじめに、大田広域市と札幌市の姉妹都市提携 15 周年を迎えるにあたり、両市の厚い友情のためにご尽力いただいております秋元市長に、心より深く感謝申し上げます。

また、日頃より温かいご声援とご支持をお寄せくださっている札幌市民の皆様にも、大田広域市民を代表して心より御礼申し上げます。

両市が姉妹都市提携を締結してから、2025 年で 15 周年を迎えました。この 15 年という長い歳月の間、両市は信頼を築き、友情をより一層深めてまいりました。行政分野はもとより、経済、文化、スポーツ、青少年分野に至るまで、さまざまな分野で続けてきた交流と協力は、両市市民の心

を一つに結びつけてまいりました。

ご招待をいただき出席いたしました第 76 回さっぽろ雪まつりの会場において、札幌市民の皆様から賜りました温かいご歓迎とご配慮は、今も記憶に残っております。雪と光が織りなす世界的な祭典を楽しみながら、友情と信頼に基づく深い共感と交流のひとつきを過ごすことができました。敬愛する秋元市長と共に行った砂時計の制作実演を通じて、両都市の未来の友情を改めて確認する意義深い時間ともなりました。

このように人と自然が調和する魅力あふれる都市である札幌市と友情を結んでいることは、大田広域市にとって大きな喜びであると考えております。今回の姉妹都市提携 15 周年を契機に、両市の固い友情と信頼が 50 年、さらには 100 年先へと続いていくことを心より願っております。

今後とも、両市が変わらぬ信頼と協力のもと、ともに未来を切り拓いていくことを期待するとともに、札幌市のさらなるご発展と札幌市民の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

ありがとうございました。

祝 辞

駐札幌大韓民国総領事館 総領事代理 ハン・サンス



札幌市と大韓民国・大田広域市が、姉妹都市提携 15 周年という意義深い節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。また、これまで両市の交流と友好関係の発展にご尽力されました関係者の皆様に、深く敬意を表します。

2009 年の交流開始を経て、2010 年 10 月に姉妹都市提携が結ばれて以来、両市は行政、青少年、文化・芸術、スポーツ、学術、経済など、幅広い分野において継続的かつ実務的な交流を積み重ねてこられました。職員相互派遣や政策分野での意見交換、青少年交流事業や学校・大学間交流、音楽・美術などの文化事業、スポーツ交流、さらには科学・研究分野における共同事業など、両市の協力関係は着実に深化してまいりました。

近年においても、コロナ禍を経て対面交流が本格的に再開され、青少年交流や文化行事、相互訪問団の派遣などを通じて、市民レベルでの交流が再び活発化しています。これらの取組は、両市の友好関係が一過性のものではなく、長期的かつ持続的なパートナーシップとして発展していることを示すものです。

今後とも、これまでの交流を通じて培われてきた信頼関係を基盤に、札幌市と大田広域市の協力関係がさらに発展し、幅広い交流へとつながっていくことを期待しております。駐札幌大韓民国総領事館といたしましても、両市の皆様と緊密に連携しながら、交流の継続と拡大に努めてまいります。

また、札幌市民の皆様におかれましては、これまで同様、両市交流へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本冊子を通じて、これまで積み重ねられてきた札幌市と姉妹都市との交流の歩みをご覧いただき、今後の札幌市の国際交流、とりわけ札幌市と大田広域市との友好協力関係に、より一層の関心をお寄せいただければ幸いです。札幌市と大田広域市のさらなる発展と、両市の友好関係が今後も末永く継続していくことを祈念し、15 周年のお祝いの言葉といたします。

祝 辞

札幌姉妹都市協会 会長
岸 光右



札幌市と大田広域市は、これまで音楽やスポーツなど様々な分野で交流を積み重ね、昨年、姉妹都市提携15周年の節目を迎えることができました。

札幌姉妹都市協会でも、これを記念して札幌国際プラザと共に

様々な事業を行ったところです。

2025年2月には大田広域市の魅力などを紹介する市民向けセミナーを開催したほか、10月には長きに渡って音楽交流を続けている札幌の演奏家団体との共催により、両市の演奏家による音楽会を開催するとともに、大田の演奏家と札幌市民が韓国語で交流するイベントも開催しました。

さらに、その翌月には、札幌国際プラザ日本文化体験ボランティアにご協力いただき、札幌市の少年少女交流事業の一環で来札した大田の中高生と札幌の中高生に、茶道体験と体験を通じた交流の場を提供しました。

また、8月に札幌市長訪問団が大田を訪問した際には、札幌姉妹都市協会の事務局を務める札幌国際プラザの職員も同行し、現地での交流事業等に参加するとともに、大田広域市外国人住民統合支援センターと今後の市民交流のあり方などについて意見交換を行いました。

このように15周年の節目は、あらためて両市の絆を確認し、今後の親密な交流を進める契機となる年になりました。札幌市にとって最も近くにある姉妹都市として、この温かな友情が末永く続き、両市の絆がさらに深まり未来に向けて発展していくことを心より祈念いたします。

祝 辞

大田広域市外国人住民統合支援センター長
キム・ユンヒ



皆さん、こんにちは。私は大田広域市外国人住民統合支援センターのセンター長、キム・ユンヒと申します。2025年に姉妹都市提携15周年の記念行事として大田の青少年たちと訪れた札幌の第一印象は、その温かさでした。秋元克広札幌市長や子ども未来局、国際

部の関係者さまの温かい歓迎やご配慮、また、きめ細やかなご協力に心よりお礼を申し上げます。特に、市長の表敬訪問は、大田の生徒たちにとって一生忘れられない経験でした。札幌について案内していただき、生徒たちの目線に合わせて激励してくださいました。

2010年10月22日に姉妹都市提携を締結した後、行政のみならず、両市は民間でも緊密で幅広い交流を続けてきました。我がセンターでは、大田広域市の傘下機関として外国人住民の定着を支援する外国人住民支援事業のほか、姉妹・友好都市及び海外都市間の国際交流を支援・実施する国際交流事業を運営しております。2017年からは多数の民間団体の国際交流の事業費を支援し、小中学校のオンライン青少年国際交流を継続的に行ってきました。

15周年を記念して行われた札幌市立柏中学校とのオンライン学校交流事業や姉妹都市少年少女交流事業は、文化でコミュニケーションを図り、友情で一つになる時間でした。大田の青少年たちは「ホームステイ中、心を通わせることができるとてもよかったです。札幌の美しい自然と多彩な文化を経験し、世界を見る視野がさらに広がった。」と語っておりました。改めて、札幌での3日間、家族になってくださったホストファミリーの皆さまに深い感謝と敬意を申し上げます。札幌国際プラザの茶道体験、北海道開拓の村や博物館、さっぽろテレビ塔など美しい紅葉とともに楽しませていただきました。生徒たちが準備した公演や送別パーティーで手紙を読んだ時、お互いに涙を流し、別れを惜しみました。

2026年に札幌の生徒たちが大田を訪問する時、科学と教育の都市、そして幸せな大田を体感していただけるよう、尽力いたします。今後も、この絆が続くことを願い、国際交流の架け橋となる機関として最善を尽くしてまいります。

ありがとうございました。